

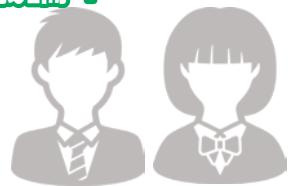
よっかいち 市議会 だより

11月定例月議会号

若者の意見を
市議会へ！



二つのテーマに
ついて高校生
が議論！



特集

高校生が市議会に意見書を提出！ p.2~3



市議会 HP
情報発信中！

高校生が市議会に意見書を提出! ～未来の主役が考える、次の一步!～

令和7年11月16日(日)に高校生議会を開催しました。当日は、8校18名の高校生が参加し「高校生議会」、「魅力あるまちづくり」について、意見書をまとめました。

高校生議会特集
録画映像も公開中



高校生議長

なかくきみづき

中久木 美月さん 四日市農芸高校

昨年度の高校生議会に参加した際、他校との交流や四日市について話すことがとても楽しかったので、今年度も参加しました。

みんなが安心して参加できるよう配慮することを大事にしながら、議長の職務を終えることができました。



高校生議会の流れを紹介!

1 本会議場で 高校生議会スタート!



3 議長選挙を行い 高校生議長を選出



2 3人の議長立候補者が所信表明演説



高校生議員にインタビュー!

議長候補

やすだ としひろ

安田 俊弘さん 晓高校6年制

高校生議会に以前から興味があり、せっかくなら議長として、みんなを引っ張っていけたらと思い立候補しました。

議長候補／Aグループリーダー

みずたに あいり

水谷 愛理さん 晓高校6年制

グループでの議論は楽しかったです。みんなで協力して出し合った意見を上手くまとめることができました。

Bグループリーダー

やまなか たつき

山中 樹さん 桑名工業高校

初めて会う人と議論することが面白いので、参加しました。活発に意見が出たことで、議論を上手く進行することができました。

Cグループリーダー

はつとり とう や

服部 統也さん 晓高校3年制

意外にもみんなの考えが共通していて、四日市を良くするために真剣に考える人が多いと実感しました。

5 各グループリーダーが意見書案について報告
三つの意見書案の可否を採決し、可決



6 高校生議長から市議会に意見書を提出



4 三つのグループに分かれて議論



意見書の一部を紹介

Aグループ

【高校生議会】

- ① 学校の授業で高校生議会を周知すること。
- ② ポスターに、参加したくなるようなキャッチフレーズを入れること。

【魅力あるまちづくり】

- ① みんなが利用できるカフェ、図書館、フリースペース、スーパー、銭湯などを設置すること。
- ② 新図書館や中央通りの整備状況をSNSで発信すること。



Bグループ

【高校生議会】

- ① こにゅうどうくんが登場する動画を作成し高校生議会をPRすること。
- ② イベントを開催して、高校生議会の知名度を上げること。

【魅力あるまちづくり】

- ① 空き地、空き家を有効に活用すること。
- ② 四日市の知名度を上げるためにイベントを開催すること。



Cグループ

【高校生議会】

- ① 各高校の最寄り駅や商業施設、バス等にポスターを貼ること。
- ② 多くの高校生が参加できるよう、日程や開催方法を検討すること。

【魅力あるまちづくり】

- ① JR四日市駅前に、さまざまな人が利用できるフリースペースを開設すること。
- ② SNSを活用して、名産品の知名度を上げ、観光資源を増やすこと。



11月定例月議会の概要

11月27日から12月23日までの27日間で開催しました。

市長提出の38議案を審議し、すべて原案のとおり可決・同意しました。また、議員提出議案3件を原案のとおり可決しました。

日 程

11 月	27日	本会議 初日 予算常任委員会 総務分科会 予算常任委員会 産業生活分科会 予算常任委員会全体会	11日 12日 17日	各常任委員会／予算常任委員会各分科会 (総務、教育民生、産業生活、都市・環境)
				産業生活常任委員会／予算分科会
				予算常任委員会全体会
12 月	4日	本会議 (一般質問)	12月 17日 23日	本会議 最終日 予算常任委員会 総務分科会 予算常任委員会 教育民生分科会 予算常任委員会全体会
	5日			
	8日			
	9日			
	10日	本会議 (一般質問 ほか)		

議 決 結 果

【全会一致で可決、同意された議案】

番号	市長提出議案
58	令和7年度 一般会計補正予算(第7号)
59	令和7年度 競輪事業特別会計補正予算(第2号)
61	令和7年度 競輪事業特別会計補正予算(第3号)
62	令和7年度 国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
63	令和7年度 食肉センター食肉市場特別会計補正予算(第1号)
64	令和7年度 介護保険特別会計補正予算(第1号)
65	令和7年度 後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
66	令和7年度 水道事業会計第2回補正予算
67	令和7年度 市立四日市病院事業会計第2回補正予算
68	令和7年度 下水道事業会計第2回補正予算
69	令和7年度 農業集落排水事業会計第1回補正予算
70	市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について
71	市長及び副市長の給与及び旅費に関する条例の一部改正について
72	市職員給与条例の一部改正について
73	一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について
74	公契約条例の一部改正について
75	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用等に関する条例の一部改正について
76	公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例の一部改正について
77	障害者体育センター条例の一部改正について
78	市立幼稚園条例の一部改正について
79	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
80	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部改正について
81	ふれあい牧場条例の廃止について
82	建築基準法等関係手数料条例の一部改正について
83	市立四日市病院使用料及び手数料条例の一部改正について
84	工事請負契約の締結について -四日市競輪場外向投票所新築ほか工事-
85	工事請負契約の締結について -三重橋垂坂線道路改良工事-
86	動産の取得について -密閉式簡易トイレセット-
87	動産の取得について -温水プール公認大会用備品-

番号		市長提出議案
議 案	88	動産の取得について－温水プール備品及び消耗品－
	89	訴えの提起について
	90	市道路線の認定について
	91	令和7年度一般会計補正予算(第9号)
	92	監査委員の選任について
	93～94	公平委員会委員の選任について
	95	固定資産評価審査委員会委員の選任について

番号		議員提出議案
発 議	11	脳脊髄液漏出症患者の救済を求める意見書の提出について
	12	地方の福祉人材確保の取組に向けた財政措置を求める意見書の提出について
	13	危機的状況にある自治体病院の存続に向けた財政支援を求める意見書の提出について

【賛否が分かれた議案】

番号		市長提出議案	議決結果	
議案	60	令和7年度一般会計補正予算(第8号)	原案可決	

会派 議員名 番号	議決結果	賛成：反対	政友クラブ					新風創志会					フューチャー四日市					公明党					市民目線 の会		無会派 日本 共産党							
			伊藤 須 嗣 也	荻 智 麻 之	上川 村 理 康	笹井 幸 康 予	笹岡 幸 太郎	日置 記 平	森川 善 周	森川 川口 裕	石谷 川口 登	辻野 新平	早川 新平	平野 貴	諸岡 之	山田 知	伊世 利	小田 世 利	竹納 康	後藤 藤野	竹 野	樋村 純	村 木	荒木 雅	中樋 博	森川 雅	山田 智	小林 博	田中 智	山谷 一也	太田 紀也	今未 厚美
議案第60号	原案可決	25:8	×	×	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○

※ ○は賛成 ×は反対

【討論】 採決の前に議題となっている案件に対し、賛否の意見を表明するとともに、意見の異なる議員に、自己の意見に賛同するよう求める発言

議案第60号 討論（反対）

保育士派遣業務委託費には、派遣保育士への給料だけでなく、派遣会社への手数料等が含まれている。保育士不足の解消には、保育士の待遇改善が重要であり、委託費の手数料分を保育士として働く職員の給料に上

乗せすべきと考えるため反対する。また、マリッジサポート事業業務委託費について、多額の費用をかけながら、事業の効果を判断することが難しいことに加え、性的マイノリティの人が参加できない事業であり、性の多様性を尊重し合う理念からも問題があると考えるため、本議案に反対する。
(村上暁議員)

人事案件

● 監査委員会委員

嶋田 宜浩 氏（新任） 住所：大字塩浜

● 公平委員会委員

松村 享 氏（再任） 住所：富田四丁目

今西 好美 氏（再任） 住所：三滝台二丁目

● 固定資産評価審査委員会委員

横山 慶志 氏（再任） 住所：三栄町

議員説明会

11月7日に「中央通り再編事業の状況」「災害を受けての今後の治水対策の取組」について、行政側から説明を受けました。

全員協議会

12月23日に「株式会社ディア四日市の破産手続開始申立てに伴う今後の対応」について、行政側と協議を行いました。

委員会審査

常任委員会の審査で出された主な意見等の概要をお知らせします

総務常任委員会

発災時の簡易トイレの配備は？

◆動産の取得について—密閉式簡易トイレセット—

問 70基ある密閉式簡易トイレセットの配置計画について確認したい。

答 各地区市民センターに1基、市役所に3基を配置し、残りの備蓄分については、小学校などの避難所への配送範囲を考慮し、市内3カ所の拠点防災倉庫に備蓄する予定である。

問 発災時にはどのように配備するのか。

答 要配慮者の避難者数などの情報を基に、各避難所の必要数に応じて柔軟に配備する。

産業生活常任委員会

ふれあい牧場が廃止された後の跡地の活用は？

◆ふれあい牧場条例の廃止について

問 ふれあい牧場の廃止に伴い、跡地を他の目的で利用できないか府内で確認したのか。

答 今議会で条例廃止が認められた後に府内で他の目的での利用の有無を確認し、申し出がなければ売却の手続きを進める予定である。

問 民間への土地、建物の売却後の活用について、令和7年9月定例月議会の委員会で、他市の事例として示された農業公園、観光農園、ワイナリーの3案に限定しているのか。

答 農用地区域にあるため、3案に限定せず、農業に供する施設利用を目的として進める方針である。

意見 ふれあい牧場は観光資源としての役割もあったため、民間への売却後も市民の憩いの場となるよう考慮してほしい。

都市・環境常任委員会

津波発生時の歩行者の避難経路は？

◆工事請負契約の締結について

—三重橋垂坂線道路改良工事—

問 災害時に本路線が避難路となる場合、国道23号を横断することになるが、津波発生時は停電で信号機が停止し交差点で混乱が生じることが見込まれる。危険な状況下で歩行者は国道23号を横断して避難するのか。

答 霞ヶ浦緑地方面からの徒歩での避難は、国道23号の側道と霞ヶ浦緑地を結ぶ跨道橋や、霞ヶ浦南町交差点の歩道橋が利用可能で、信号機の稼働に関係なく横断できる。

意見 避難時のことを見込んで設計してもらいたい。



教育民生常任委員会

◆障害者体育センター条例の一部改正について、ないし、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部改正について、地方の福祉人材確保の取組に向けた財政措置を求める意見書の提出については、別段、質疑及び意見はありませんでした。

予算常任委員会

予算は、まず、四つの分科会で詳細に審査を行います。その後、全体会で各分科会から審査の経過と結果を報告し、必要な事項については全体会でさらに議論を深めます。



予算常任委員会分科会

総務分科会

新図書館の建設用地の確実な取得を

◆知と交流の拠点施設整備事業費

問 土地取得について、基本設計に着手する前に契約を交わすべきではないか。

答 地権者が税控除を受けるためには、都市計画事業の認可が必要で、申請には図面が必要である。また、正式な金額を提示した後は、6カ月以内に契約を締結しなければならないため、概算額を示して協力の意向を確認している。基本設計が完了した後に正式な価格を提示し、期限内に契約を進める予定である。

問 スターアイランド跡地で検討していた図書館の建て替え計画が、コストの急増などで断念したことを踏まえ、支出の合理的根拠や取得費の上限を明確に示すべきではないか。

答 概算額は土地鑑定および国に基づく基準に基づく金額である。今後、若干の調整をする可能性はあるものの、大きな変動は見込んでいない。



教育民生分科会

夏休み中の児童の預かり場所は？

◆夏休み児童預かり事業業務委託費

問 実施場所が市の東部に偏っているが、今後の実施場所の考え方を確認したい。

答 本事業は学童保育所の逼迫状況を踏まえた時限的な措置であり、市の東部は需要が高い地域として当面継続する予定である。令和9年度以降は利用者アンケートで利用者の居住地や保護者の勤務地を把握し、ニーズに合った場所を選定していく。

問 指導員の人員確保に課題はないのか。

答 令和7年12月にプロポーザルの要領を公表し、令和8年7月に事業を開始するため、その間にプロポーザルに参加する事業者に人員を確保してもらいたいと考えている。



産業生活分科会

公平に児童生徒が体験に参加するには？

◆こどもみらいクーポン事業

問 小学生は保護者の付き添いなしでは校区外へ ↗

移動できないため、体験プログラムを実施する施設へのアクセスに地域ごとで差が生じるのではないか。

答 教育委員会と協議し、体験プログラムの対象を地区市民センターや地域行事にも拡大し、どの地区でも等しく参加できるよう努める。

問 不登校や家庭の状況などで積極的な参加が難しい児童生徒であっても、本制度を利用できるよう、どのような工夫や配慮を行うのか。

答 外出が難しい児童生徒のために、情報の閲覧だけでもポイントがもらえる仕組みを検討しており、まずはタブレット端末を使って興味を持つことから始められるよう配慮していく。



都市・環境分科会

中心市街地の排水機能の強化は？

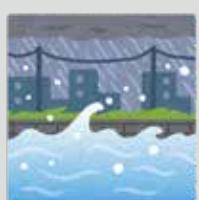
◆公共下水道事業（仮称：新阿瀬知ポンプ場）

問 雨水排水機能を強化するため、中心市街地のポンプ場の整備予定を確認したい。

答 新阿瀬知ポンプ場の整備計画では、阿瀬知排水区と伊倉排水区のポンプ場を整備する予定であり、いずれも時間雨量75ミリの降雨に対応可能である。

問 令和7年9月定例月議会で、治水対策に関する政策提言をしたことを踏まえ、新阿瀬知ポンプ場の供用開始はいつ頃の計画となったのか。

答 令和13年度に着工し、令和25年度に完成し、令和26年度から運用を開始する予定である。費用を考慮しながら複数の施工方法を比較検討し、できるだけ早く整備を完了できるよう努める。



予算常任委員会全体会

学生が安全に利用できるよう環境整備を

◆知と交流の拠点施設整備事業費

問 学生が夜間も安全に利用できるようにするために、近鉄四日市駅から新図書館までの移動について、どのように環境を整備するのか。

答 客引き防止など安全対策を継続するとともに、中央通り再編事業でウォーターバルな空間をつくることで安全に移動できるよう整備していく。

問 新図書館の候補地は災害ハザードエリア内にあるが、災害時でも公共施設として適切に機能するのか。

答 候補地の洪水等による浸水は1～2メートル程度と想定され機能が停止するリスクは低い。また、新図書館には津波避難ビルや緊急避難場所の役割も持たせる予定である。

意見 令和7年9月12日に発生した大雨による被害の影響もあり、くすの木パーキングの復旧やバスタ事業の進捗が不明瞭であるため、慎重に事業を進めるべきである。



一般質問をした議員と項目（質問順）

田中 徹	◦災害時の医療体制と市立病院の課題について ◦未来に向けて日本の花～桜～四日市
小林 博次	◦くすの木パーキング（地下駐車場）の早期再開について ◦旧笹川西小学校校舎や体育館の活用について
水谷 一未	◦市民の誰もが安心して暮らせる環境づくりについて ～学校給食無償化・外国人市民との共生に向けた課題・公園の在り方を通して～
太田 紀子	◦高齢者の肺炎予防について
村上 晓	◦同性カップルに対する施策について ◦学校給食の無償化について
樋口 博己	◦未来につなげる四日市市を目指して～女子トイレ・財源確保・避難所～
森 智子	◦健康社会の実現を ◦物価高を乗り越えるために
上 麻理	◦四日市のキャラクター・コンテンツ費用対効果は？ ◦あすなろう鉄道と公共交通活用 様々な利便性
笹井 絹予	◦未来の四日市を創る人材確保と災害に強いまちづくりへの挑戦
森川 慎	◦学校タブレットについて
荻須 智之	◦温水プールの工事の遅れと競技会運営について
森 康哲	◦9月議会の質問の続きについて ◦消防指令システムの整備について
伊藤 翼也	◦災害に強い街を創る本来の立地適正化計画を ～7年間に2回降った120mm超え集中豪雨等への対応～
笹岡 秀太郎	◦新たな未来を創造する半導体産業への支援策について ◦キッチンカーの営業許可申請について
伊世 利子	◦四日市の里山保全と循環型社会 ◦高齢者の終活について ◦窓口業務について
小田 あけみ	◦高齢者等のごみ出し支援について 福祉サービスを受けていない人も困っている ◦イノシシに対する獣害対策について 人と野生動物が共存するために
後藤 純子	◦こども誰でも通園制度について ◦物価高対策の支援について～重点支援地方交付金の活用～
竹野 兼主	◦四日市市中小企業・小規模企業振興基本条例について ◦公共施設適正化について
樋口 龍馬	◦安心して住み続けられる「住みたくなるまち四日市」の実現に向けて
辻 裕登	◦相続されていない危険な空き家の早期発見を！ ◦企業誘致に向けた工業用地確保の取り組みについて ◦四日市のデジタル化は遅れているのか～子育て・介護関係のオンライン手続き～
山田 知美	◦ケアを担う女性を支える市政へ
谷口 周司	◦市民の声を力タチに！！～今こそ、四日市独自の対策を～
平野 貴之	◦過酷な草刈りをヤギが解決 ◦子どもを守れ～犯罪の温床を断とう～ ◦四日市の地場産を世界へ
今村 厚美	◦何歳になっても勉強したい～放送大学サテライトスペース・再視聴室の誘致について～

一般質問から

一般質問は、議員が議案に関係なく市政の諸課題や将来への展望等について市の考えをただすものです。

11月定例月議会は、24人が一般質問を行いました。その中から主な質問と答弁をご紹介します。

- ・質問等の詳細については、市議会ホームページの「インターネット録画中継」または「会議録（次の2月定例月議会ごろに公開予定）」をご覧ください。
(※視聴の際のデータ通信料はご自身の負担となります)

市立四日市病院

災害時の医療継続体制を整備せよ



市民目線の会
田中 徹



議員 9月12日の豪雨災害の際、市立四日市病院の救急搬送受け入れが一時停止したと聞いている。災害拠点病院としての機能停止は市民生活に大きな影響を与えるため、停止の理由や時間、その間の救急要請への対応を確認したい。

病院事業副管理者 豪雨による漏水で天井の一部が落下し、二次災害防止のため22時25分から翌日8時15分まで救急搬送受け入れを停止した。当日は救急輪番の当番日ではなく、停止期間中の問い合わせ1件は他院へ搬送されている。

議員 約10時間に及ぶ救急搬送受け入れ停止は、市民の命を守る災害拠点病院としての信頼を揺るがす事態であり、今回の対応を十分に検証すべきではないか。また、災害医療体制の強

化に向け、地域医療機関との連携を深めるとともに、建て替えまでの間、耐災害性を確保する暫定的な補強を行うべきではないか。

病院事業副管理者 施設や連絡体制の課題について検証を進めている。また、近隣病院との連携訓練等を継続していく。漏水は老朽化ではなく想定外の雨量が原因だと考えるが、今後は同規模の豪雨も想定して施設の点検・改修を行い、災害時の医療継続体制の整備に努める。

議員 今回の事態は、災害医療体制の脆弱性と施設の老朽化の限界も示していると受け止めている。想定外の事態であっても対応できるよう、今回の経験を教訓として検証し、市民の安全安心を守るために対策を講じるよう強く要望する。

あすなろう鉄道

あすなろう鉄道の利用者に寄り添った取り組みを



政友クラブ
上 麻理



議員 あすなろう四日市駅と近鉄四日市駅をつなぐ連絡通路について、これまで歩行者デッキの共用と同時に撤去するとしていた方針に変更があったのか確認したい。

都市整備部計画担当部長 駅周辺工事の工程を調整し、令和8年7月上旬に連絡通路の撤去に着手することを見込んでいる。歩行者デッキは令和8年6月頃の共用を予定しているため、6月中旬は既存の連絡通路と歩行者デッキの双方が利用できる状態となる。市としては、この期間を活用して乗り換えの動線の変更について、利用者に対し周知の徹底をしたいと考えている。

議員 既存の連絡通路と歩行者デッキを同時に共用している期間の市民の声を真摯に受け止め、課題の解決に取り組んでほしい。次に、あすなろう四日市駅ではトイレがいまだに和式であることや、待合室がないなど、利用者にとって当たり前である設備が整備されていない。あすなろう鉄道は高校生の利用も多いほか、インクルーシブ(※)なまちづくりを考える上でも早急にト

イレを洋式化すべきである。また、待合室の設置にも取り組むべきではないか。

都市整備部計画担当部長 令和8年度から国の補助制度を活用し、あすなろう四日市駅のトイレ洋式化に取り組む。また、他の駅についても優先順位を検討し、順次トイレの洋式化に取り組む。このほか、待合室の設置は重要と認識しており関係者と調整し、検討していきたい。



あすなろう四日市駅と近鉄四日市駅をつなぐ現在の連絡通路

※ あらゆる多様性を認め、誰もが排除されることなく地域で当たり前に存在できる共生社会を目指す理念

地下駐車場



市民目線の会
こばやし ひろつぐ
小林 博次



議員 9月の集中豪雨で大きな被害があった「くすの木パーキング」では、市に提出された避難確保計画等に沿った設備点検や訓練の未実施が判明したが、市は指導していなかったのか。

都市整備部計画担当部長 市は、管理運営に直接関与しておらず、計画にも報告義務がないため、未実施だった経緯は承知していない。国の復旧検討委員会の中間報告では、関係者間での情報共有ができていなかったことにも課題があると報告されている。復旧後は、復旧検討委員会の検討結果を踏まえた助言や指導に努める。

議員 施設管理者のディア四日市からは、自社での復旧は困難として、市に早期復旧を求める要望書が出された。地域住民は非常に困っており、

地域経済への影響も大きいため、国の交付金の活用も視野に入れつつ、市が公共事業として早期に復旧を図るべきではないか。

市長 くすの木パーキングの早期復旧は至上命題である。現在、市が施設を取得し、公共事業として復旧を進める方針であり、取得価格についてディア四日市と協議中である。公的資金を投入するため、市民への説明責任を果たせる適正な価格設定が必要であり、合意に向けて協議している。取得後は1日も早く復旧していく。

議員 市はディア四日市の筆頭株主なので、他の株主の意見を早期にまとめて協議を終わらせ、「くすの木パーキング」を早期に再開するよう強く要望する。

※ 株式会社ディア四日市は、令和7年12月17日付で、津地方裁判所四日市支部に対して破産手続きの申請を行った。

多文化共生・公園



市民目線の会
みずたに かずみ
水谷 一未



議員 本市では、外国人市民と共に地域を支える時代が訪れており、多文化共生は「必要かどうか」ではなく、「どう進めるか」を考える段階にある。例えば、外国人市民がごみ分別のルールを十分に理解せず、改めて分別が必要となり、地域の負担が増しているとの声もあるが、ごみ分別のルールを外国人市民に確実に伝えるためにはどのように取り組んでいるのか。

環境部長 ごみガイドブックやごみ収集日程表のほか、正しいごみ出しを支援するためのアプリや動画を7カ国語で作成している。また、ごみ集積場に設置する外国語表記の案内看板の作成費用を支援している。今後も広報やホームページを通じ、多言語による周知、案内に努める。

議員 外国人市民との意思疎通をより円滑に図るために、他自治体が導入している翻訳機の貸し出しを本市も導入してはどうか。

渡辺副市長 翻訳機の導入は検討していないが、それに代わるものとして、国の無料翻訳アプリ等の周知とともに、「やさしい日本語（※）」の啓発を通じて、共生社会の実現に取り組む。

議員 坂部が丘団地内で子育て世帯から高齢者世帯までみんなが利用しやすい公園整備を行っているがどのような整備か。

都市整備部長 利用が低下している小規模な公園を集約し、利用する年齢層や目的でゾーン分けをするなど地域の声も聞きながら多世代が利用できるよう整備を進めている。

※ 分かりやすい表現に直した簡単な日本語で、外国人や子どもなど、誰にでも分かりやすい日本語のこと

予防接種

高齢者の肺炎予防に取り組め



日本共産党
おおた のりこ
太田 紀子



議員 肺炎は高齢者の死因の上位に位置している。肺炎球菌感染症は肺炎を発症しやすいが、ワクチンの定期予防接種の期間は65歳の1年間だけである。市は定期予防接種の機会を逃した高齢者を対象に接種費用の補助を検討すべきではないか。また、時間の経過とともに減少する抗体を維持するため、2回目の接種費用の補助を検討すべきではないか。

健康福祉部保健衛生担当部長 肺炎球菌ワクチン予防接種の費用補助は、平成23年度から開始し、一定の効果を得たため、令和6年度末で終了した。今後は65歳の対象期間中に接種を希望する人が適切に接種できるよう周知啓発に努める。また、2回目の接種については、有効

性などについて国で審議されており、今後の動向を注視していく。

議員 RSウイルス感染症（※）も重症化すると肺炎を発症するリスクが高いといわれている。国は妊婦を対象にRSウイルスワクチンを定期予防接種化したが、定期予防接種の対象外である高齢者への支援を市は検討しないのか。

健康福祉部保健衛生担当部長 高齢者へのRSウイルスワクチンの定期予防接種化については、国の審議が進んでいない。市としては、今後も国の審議状況などの動向を注視し、情報収集に努める。

議員 高齢者のうち、重症化リスクの高い人に対象を絞ってでも、補助を検討してほしい。

※ 感染すると発熱、鼻汁、咳などの症状のほか、重症化すると気管支炎や肺炎などを発症する。

性の多様性 同性カップルに対する行政支援を推進せよ



日本共産党
むらかみ さとる
村上 晓



議員 性的少数者等のカップルが互いを人生のパートナーと誓う「三重県パートナーシップ宣誓制度」(以下、宣誓制度)がある。県内では宣誓制度を利用したカップルから希望があれば、住民票の続柄を事実婚と同様の記載で発行する自治体もあるが、本市でも取り組んではどうか。

渡辺副市長 総務省は、当該記載は法の目的に沿わず実務に支障を来す恐れがあるとしているため、国の動向を注視し、適切に対応していく。

議員 性の多様性への理解が進み、民間企業等では宣誓制度を利用したカップルへ夫婦と同様の福利厚生を適用する動きがあるが、本市職員への適用状況を確認したい。

総務部長 職員互助会の結婚祝い金について、

性の多様性を認め合い福利厚生を充実させるため、令和6年4月より対象を宣誓制度利用者へも拡大している。

議員 同性カップルは本市の結婚祝金給付制度の対象外だが、宣誓制度を利用している同性カップルにも給付すべきではないか。

こども未来部長 本事業は、結婚を機に四日市に住み続け、出産を望む人には四日市で子育てするきっかけともなる事業であることから、現行どおり、法に基づく婚姻届を提出した夫婦を対象としていく。

議員 性の多様性を認め合い、誰もが安心して暮らせる三重県づくり条例の理念からも、生きづらさに寄り添い対象の拡大を検討してほしい。

環境・財政 未来につなげる四日市市を目指して



公明党
ひぐち ひろみ
樋口 博己



議員 令和7年6月に国は女子用トイレの利用環境の改善に向けた対策の推進を位置づけた基本方針を閣議決定した。相好アリーナ四日市で大規模な大会が開催される際には、女性トイレに長蛇の列ができるが、混雑緩和のためにどのような対策をしているのか。

シティプロモーション部長 相好アリーナ四日市では、大規模大会の開催時に、普段は閉鎖している予備のトイレをすべて開放している。これにより、男性用は小便器10個と個室8室、女性用は個室14室が利用可能となるため、大幅な混雑緩和が図られている。今後も大会規模に応じた柔軟な運用に努める。

議員 トイレの問題は、衛生上の観点から、災

害時だけではなく、平時にも重要である。相好アリーナ四日市が柔軟に運用している事例を、他の市の施設の整備の際に参考にしてほしい。次に、本市が管理している基金は653億円であり、今年度の運用益は5億5000万円の見込みである。基金の運用状況をもっとPRしてはどうか。また、運用益が行政サービスに充当され、市民に還元されたことを明確にして事業に取り組んでほしい。

財政経営部長 市のホームページで、基金積立金資金の運用状況を公表しているが、今後は広報よっかいちでの掲載も検討していく。運用益の使途は、各基金条例に規定されているため、条例の趣旨に沿った充当先を考えていきたい。

予防医療 健康社会の実現に向けた予防医療の充実に取り組め



公明党
もり ともこ
森 智子



議員 RSウイルス感染症は、乳幼児や高齢者が感染すると肺炎等で重症化する恐れがある。国は令和8年4月から妊婦への母子免疫ワクチンを定期接種化するが、抗体を新生児に直接注入する抗体製剤も活用し、すべての子どもを対象にRSウイルス感染症を予防してはどうか。

こども未来部長 母子免疫ワクチンについては、令和8年度の定期接種開始に向け、対象となる妊婦への通知や医療機関と連携した周知など、着実に準備を進める。抗体製剤については、予防接種法上のワクチンと解釈できないことから、現行法制度上一定の整理が必要とされており、国の動向や他市の取り組み等を注視していく。

議員 妊娠や出産を見据え、若いうちから健康

管理を行う、プレコンセプションケアの取り組みは、男性を含む子宮頸がん予防のためのHPVワクチン接種の周知啓発にも効果的と考える。将来の妊娠、出産のために現在の健康状態を検査するための費用を助成する市もあるが、本市は、プレコンセプションケアを普及させるため、どのように取り組むのか。

こども未来部長 本市では、各部局がプレコンセプションケアに関連した取り組みを推進している。引き続き、安心して妊娠、出産ができる環境づくり、健康づくり、疾病予防等を行うことに加え、プレコンセプションケアの理念が子育てを通じて次世代に継承されるよう、市ホームページを通して広く情報提供を行っていく。

人材確保・水害対策

人材確保策の強化と水害対策へのAI活用を



政友クラブ
笠井 紗由



議員 市の土木や福祉等の専門職で応募者の減少等が続き、公共インフラの維持や福祉サービス等への影響が懸念される。民間との併願を容易にする新卒者へのSPI試験の導入や、合格発表の早期化、デジタル人材の確保、社会人枠の筆記試験の負担軽減など、現状の課題を踏まえた柔軟な試験制度への改善を図ってはどうか。

総務部長 試験日程の前倒しや受験手続の簡素化、市独自の説明会の開催のほか、デジタル人材の内部育成に取り組んできた。今後は新卒者へのSPI試験の導入の研究や広報強化等を含め、多様な人材確保に努める。

議員 近年の激甚化する豪雨災害を教訓に、初動対応の迅速化には先端技術の活用が不可欠で

ある。鹿化川上流に導入されたAIカメラのほか、ワンコイン浸水センサ(※)の設置状況と効果を確認したい。また、地形や過去の履歴等を活用した浸水予測AIシステムの導入を検討してはどうか。

危機管理統括部長 上流部にAIカメラを設置することで、増水を早期に把握し避難情報発令に活用することができる。浸水予測AIシステムは突発的な豪雨の予測精度に課題があり、今後の技術進展やデータ蓄積を踏まえ検討する。

上下水道事業管理者 ワンコイン浸水センサを浸水発生頻度が高い地区に設置し、状況把握や初動対応に活用している。今後も機器の増設を図り、リアルタイムの浸水データ把握に努める。

※ 機器最下部が一定時間水に浸かると電波を発信、リアルタイムな状況把握を可能にする小型、低コストで設置できる浸水センサ

学校

学校タブレットの運用を再考してはどうか



政友クラブ
森川 慎



議員 多くの学校で児童生徒はタブレット端末を毎日持ち帰っているが、教科書などの他の荷物と合わせると、登下校時の荷物は非常に重い。児童生徒への負担を軽減するため、タブレット端末の使用が少ない日は持ち帰りを控えるなどの柔軟な運用や、学校に置いて帰ることができる教科書等の再検討が必要ではないか。

教育長 タブレット端末は、家庭でのドリル学習や翌日の準備等に活用するため、持ち帰りが基本だが、児童生徒の負担軽減も重要だと考えている。持ち帰る荷物を適切に見直すなど、改めて各校に周知する。また、令和8年4月に使用端末を更新するが、機種選定の条件に重量を加え、現行より軽量なものを導入予定である。

議員 タブレット端末に配信される宿題について、保護者からは宿題の進捗状況が把握しづらいという声や、紙の教材の方が安心という声が寄せられている。特に、長期休暇など親の目が届きにくい環境では、保護者は子どもが学習内容を理解しているか不安に感じている。こうした現状へどのように対応するのかを確認したい。

教育長 デジタルドリル等は、学習履歴や正答率が記録され、保護者もタブレット端末で確認できるが、従来の方法と異なるため確認しづらいという意見があることは把握している。今後は、学習履歴の確認方法などを保護者へ周知し、家庭と学校が連携して、子どもの学びを支えられるよう各校へ働きかけていく。

運動施設

温水プール改築工事の遅延と施設の機能不足を問う



政友クラブ
荻須 智之



議員 四日市市温水プールの改築工事が遅れている。開所式や大会などが予定されていたが、工期の延長について市民や関係団体に周知しているのか。また、改築工事後の施設にも観覧席や選手控え室はなく、観客や選手が屋外で待機する必要があり、駐車台数も少ないが、競技場として適切と言えるのか。

シティプロモーション部長 工期の延長については、ホームページで周知しており、関係団体の理解を得ている。選手控え室の不足については、多目的室を活用するなどの対策を想定している。駐車台数については、改築後22台分増設するため、平時の利用には問題はないが、大会時には公共交通機関の利用や乗り合わせを促す。

議員 四日市市温水プールは練習用プールであり、施設の機能強化は行わないとする一方で、競技用プールとして整備するに至った経緯を確認したい。また、学校の水泳授業で利用する必要が生じた場合を想定し、水深を調整できる可動床を設置すべきでなかったのか。

シティプロモーション部長 競技団体からは室内公認25mプールやそれに伴う付帯施設の整備を求める要望があり、協議の上、市民大会が開催できるよう計画を進めている。可動床については、教育委員会が授業での利用を想定していないことを確認しているため、不要と判断した。

議員 25mプールの記録では全国大会に出られないため、早期に50mプールの建設を求める。

半導体

半導体生産日本一を支える本市の取り組みは



政友クラブ
笹岡秀太郎



議員 世界的に半導体市場は拡大を続けており、本市は県内の出荷量の大部分を占めている。本市にある半導体企業は、地域経済にとって大変重要であり、世界をけん引する企業を擁する自治体として、今後の市場の動向をどのように捉えて半導体企業を支援していくのか。

商工農水部長 生成AIの普及などで半導体市場は拡大し続け、2030年には100兆円を超えると予測される。本市は国内トップの製造拠点であり、今後は設備投資への助成に加え、企業の人材の育成や確保を支援することで、企業がさらに事業拡大できるよう環境整備を進めていく。

議員 半導体産業の持続的発展には人材の育成と確保が不可欠である。産学官連携による「みえ半導体ネットワーク」が設立されたが、今後、高度な専門知識を持つ教育者や教育施設も必要となる。企業が求める人材像や重点分野をどのように把握し、人材の育成や人材確保の支援につなげるのか。

商工農水部長 県内半導体関連企業へのニーズ

調査では、今後10年間で約4000人の採用が必要とされ、幅広い理系人材が求められている。これに対応し、児童・学生への出前授業等で認知度の向上を図りつつ、JR四日市駅前への理工系大学の設置に向けた取り組みを進め、日本一の半導体産業都市としてさらなる発展を目指す。

議員 国の成長産業を育てる施策の流れに乗り遅れないように取り組みを進めてほしい。



市内中学校における半導体企業の出前授業の様子

子育て・保育

こども誰でも通園制度の実施に向けた取り組みを



フューチャー四日市
後藤 純子



議員 こども誰でも通園制度（以下、通園制度）は、0歳6ヶ月から満3歳未満の未就園児を対象に、保護者の就労要件を問わず月10時間まで利用できる新たな通園給付である。本市における制度の開始時期、対象者数と、実施に向けた具体的な方向性を確認したい。

こども未来部長 通園制度の実施に向けて条例制定等の環境を整備する。制度の対象児童数は2927人と見込むが、保育士不足により待機児童が生じている中、保育士や施設の確保は非常に困難である。現時点での市内施設での実施の見通しを立てるのは難しく、他市の実施状況等を調査しながら実施可能な手法を検討していく。

議員 通園制度は市町をまたいだ利用も想定しているが、市外で制度を利用した場合、本市が利用料の公費負担分を支払うのか。また、待機児童が解消されれば、市内でも実施できるのか。

こども未来部長 市民が市外施設を利用した場合、本市が公費負担分を支払うこととなる。待機児童が生じている現状では、市内施設の定員

に余裕はないため、新たに保育士が必要となるが、保育士確保に苦慮している。令和8年4月からの市内施設での実施は難しい状況である。

議員 通園制度の検討にあたっては、現場の意見を丁寧に聞くことが重要である。すべての子どもの育ちを支える制度であることや、要支援家庭等を早期に把握する新たな機会となることを、関係者間で共有して取り組んでほしい。

こども誰でも 通園制度

出典：こども家庭庁ホームページ (<https://www.cfa.go.jp/policies/hoiku/daredemo-tsuen>)
こどもたちが新しいモノ・コトに出会えるイメージのロゴマーク

公共交通

政友クラブ
もり
森 康哲

議員 令和17年の国民スポーツ大会の開催に向けて、霞ヶ浦緑地周辺にJRの新駅を設置する考えはないか。また、近鉄霞ヶ浦駅から霞ヶ浦緑地までの市道霞ヶ浦垂坂線と国道1号の羽津町交差点では、横断者が多いと渋滞が発生し、生活道路へ車両が流入していることが地域の課題となっているが、市は対応しているのか。

都市整備部計画担当部長 新駅の設置については、交通需要の見通しや市民生活への影響を総合的に勘案すると、現時点で必要ないと考えている。また、羽津町交差点の渋滞対策としては、右折車両が滞留できる右折ポケットを設置する交差点改良工事をすでに完了している。

議員 近鉄霞ヶ浦駅に新たに西改札口の整備を

望む地域の声は強い。鉄道事業者による事業化の予定はないことから、市として地区の特性に応じた道路、公園などの配置について定めた「地区計画」で新たな改札口の整備を定めることはできないか。また、地域からの請願を受けて、地区と市が費用を負担して新たな改札口を整備できないか。

市長 地域の思いは理解するが、改札口等の鉄道事業者が設置する施設は地区計画に定めることができない。また、請願が提出されても、鉄道事業者が主体的に取り組むべき事業であるほか、周辺の道路環境から駅周辺での渋滞の発生や、交通事故の発生リスクが高まることから、市が新たに改札口を整備することは困難である。

災害対策・まちづくり

7年間に2度の時間雨量120ミリ超え集中豪雨への対応を

政友クラブ
いとう
伊藤 嗣也

議員 7年間に2度、時間雨量120ミリ超の豪雨が発生した。現在見直し中の立地適正化計画(※)において、国が浸水想定区域等の土地利用規制を掲げる中、水害リスクが重なる海拔2m以下の区域に、新たな都市機能や住宅を増やす政策はあり得ない。また、海拔5mに位置する図書館を2mの低地へ移転させることは、防災上不適切である。現在、中心市街地については時間雨量75ミリに対応した下水道整備が進められているが、時間雨量120ミリ超の豪雨に対応できるのか。

上下水道局管理部長 時間雨量120ミリ超の豪雨については、ハード面のみでは対応しきれないため、ソフト面と合わせ対策していく。

※ 高齢化と人口減少に対応し、病院や商業施設などの都市機能や住宅を特定の区域に集約させることで、持続可能なまちづくりを目指す計画。

危機管理統括部長 ハザードマップで危険箇所を周知し、市民に対する意識啓発を徹底するなど、ソフト面の対策を強化することで、被害を未然に防ぐ避難体制の構築に努める。

議員 水害リスクの高いエリアを住宅や都市機能の誘導区域に指定する政策は、アクセルとブレーキを同時に踏むようなものである。市民の生命と財産を守ることを最優先に考え、災害に強い地域へ新たな都市機能や住宅を増やすことが本来の姿と考える。現在見直しが進められている立地適正化計画については、将来の安全を最優先した計画となるよう、今一度立ち止まり、被災した市民の立場に立って、慎重に検討すべきである。

里山保全

里山保全の推進に取り組め

フューチャー四日市
いせ としこ
伊世 利子

議員 森林の多面的な機能が重視される中、林业の衰退などによる人手不足で里山の荒廃が進んでいる。県が災害に強い森林づくりなどを目的に導入した「みえ森と緑の県民税」を原資とする県の交付金は、地域の実情にあった森林管理が可能となるため、里山保全団体が効果的に活用できるよう市による適切な指導が必要であると考える。本市における、過去3年間の交付金の活用実績と今後の課題について確認したい。

商工農水部長 公共施設への木製備品の導入や里山保全を行う延べ9団体へ機械購入費などの支援を通して、御池沼沢植物群落周辺等の竹林や里山の約6ヘクタールで保全活動を行った。今後も広報等で周知し、活用促進を図る。

議員 里山の保全には、環境課題の解決と継続的に活動する団体や人材の育成が不可欠であると考える。本市の取り組み状況を確認したい。

環境部長 エコパートナーから事業提案を受けた竹林整備事業では、継続的な取り組みとなるよう環境教育と組み合わせ、高校生や企業と連携した調査研究を進めている。中長期的にエコパートナー等と環境課題に取り組むことで、組織力の向上を図るとともに次世代の人材育成につながるような環境先進都市の実現を目指す。

議員 里山保全に関する専門の窓口を設置するなど里山保全の円滑な活動を促進してはどうか。

市長 市民やエコパートナーなどとの連携を模索しながら、里山保全に着実に取り組んでいく。

ごみ出し支援

高齢者に寄り添ったごみ出し支援を

フューチャー四日市
おだ
小田あけみ

議員 本市では福祉サービスを利用している高齢者へのごみ出し支援を実施しているが、福祉サービスを受けていない高齢者等へのごみ出し支援はない。高齢者のみの世帯が増加し、ごみ出しが難しい世帯のさらなる増加が見込まれるため対策が必要である。他市ではごみの収集ルート上に位置する家庭の戸別収集を行っている事例もあるが、本市でも実施できないか。

環境部長 収集ルート上の戸別収集を実施した場合、収集箇所の増加により、人件費や車両購入費などのコスト面や、収集体制の見直しのほか、住民間でごみ出しの利便性に格差が生じるなどの課題がある。市では、ごみ出しが困難な世帯の増加も想定し、令和3年度から地区市民セン

ターに訪問介護等の事業者が専用で使用できるごみの回収箱の設置を進めているほか、地域の事情も考慮しながら柔軟にごみ集積場を設置するなど地域に寄り添った対応に努めている。

議員 ごみ出しだけでなく、ごみ当番やごみ集積場の準備、清掃なども高齢者にとって負担となっており、戸別収集の実施は多くの高齢者にとって大きな助けになると考える。本市の将来を見据え、戸別収集または福祉サービスを受けない高齢者へのごみ出し支援を次期総合計画に位置づけ、取り組んではどうか。

環境部長 全市の戸別収集の実施はコスト面や収集体制などに課題があるため、今後の社会情勢を見極めながら研究を進めていきたい。

企業支援

中小企業や小規模企業への支援策は

フューチャー四日市
たけの
竹野 兼主

議員 令和7年6月に制定された中小企業・小規模企業振興基本条例（以下、条例）に基づき、令和8年度に向けてどのような施策を行うのか。また、条例には経済情勢の急変時における経営面と資金面の配慮が規定されている。市は指定管理施設の光熱費の高騰分を補填しているが、近年の最低賃金の大幅な引き上げを受け、人件費の高騰分も補填すべきではないか。

商工農水部長 条例に基づき、学識経験者や経営者等で構成された審議会を設置し、振興施策を体系化した「中小企業等振興戦略プラン」を令和8年度中を目標に策定していく。

財政経営部長 指定管理料は精算しないのが原則だが、指定管理者の選定後に光熱費が想定外

に高騰し、企業努力での対応には限界があるため、例外的に高騰分を精算している。人件費の高騰についても、光熱費と同様に高騰分を精算できるよう検討を進めている。

議員 中小企業において人材確保が課題となっているが、新規の雇用に有効な奨学金返還支援制度（※）の導入事業者を支援してはどうか。また、中小企業等振興戦略プランに位置づけてはどうか。

商工農水部長 県の奨学金返還支援制度を活用する市内企業は増加していることから、他市の事例を調査し、審議会や事業者の意見も参考にしながら、中小企業等振興戦略プランを策定する中で検討していく。

※ 独立行政法人日本学生支援機構の貸与奨学金を受けていた従業員に対し、企業が返還金額の一部または全額を代理で返還する制度

自立支援・治水

住みたくなるまち四日市の実現に向けて

フューチャー四日市
ひぐち りょうま
樋口 龍馬

議員 生活困窮者の自立を促し、就労意欲や生きがいを創出する中間的就労の仕組みが必要である。令和7年9月定例月議会の一般質問で中間的就労に関する調査を実施するとの答弁があつたが、進捗状況と今後の方向性を確認したい。

健康福祉部長 個人の特性に応じた多様な訓練形態の構築や、工賃を支給して利用者のやりがいの創出につなげている釧路市の取り組みなどを参考に、支援のあり方を研究していく。

議員 地域活動の担い手不足解消や、自立支援対象者等の社会参加を促すため、地域活動の対価として地域通貨の導入を検討してはどうか。

政策推進部長 地域活動への対価の付与は慎重な検討が必要だが、地域通貨の活用は行政課題

の解決手法の一つとして事例等の研究を進める。

議員 大雨への備えとして、雨水を一時的に貯留する流域治水が効果的と考える。田んぼに溜める田んぼダムや学校のプールを活用してはどうか。また、家庭における雨庭（※）や雨水貯留タンク設置への補助を実施してはどうか。

商工農水部長 田んぼダムは、国の交付金を活用した本市中村町の事例等を参考に、営農への影響を調査しながら周知啓発を図る。

副教育長 学校プールを貯水池として活用することは、維持管理に課題があり難しい。

都市整備部長 補助制度は、設置件数の減少や効果の継続性などから実施は考えていないが、雨水の流出抑制の啓発に一層努める。

※ 雨水を一時的に貯留し、ゆっくりと地中に浸透させる構造を持った植栽空間

職場環境

ケアを担う女性職員への支援を充実させよ

新風創志会
やまだともみ
山田 知美

議員 市職員の女性の割合は男性より多いが、管理職の割合は低い。女性管理職の割合を増やすことと並行して、育児や介護などの家庭でのケアを担う職員が無理なく働ける環境、公正な評価制度への見直しや柔軟な働き方の導入が必要だと考える。仕事と家庭の両立を支援する勤務制度の整備状況について確認したい。

総務部長 育児休業の分割取得や部分休業の柔軟化など、制度の見直しを進めてきた。その結果、男性職員の育児休業取得率については、平成30年度は21.3%であったが、令和6年度は約70%まで上昇し、夫婦で協力して育児ができる環境づくりが進んでいる。また、介護休暇や時差出勤、ICTを活用した在宅勤務制度なども導入しており、令和5年度の職員アンケートでは77.9%がワーク・ライフ・バランスに満足していると回答している。

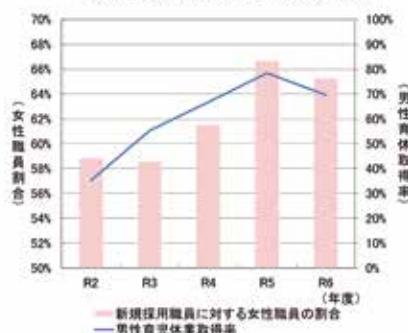
議員 多くの制度が存在しても、手続きの煩雑さや職場の雰囲気により、利用しにくいとの声がある。制度を使えなかった理由や心理的な障壁

の有無など、現場の実態を把握するためのより具体的なアンケートを実施すべきではないか。

総務部長 今後、職員の声を具体的に掘り下げ、現場の課題を的確に把握できるようアンケートの設問を見直すことを検討する。

議員 新規採用職員の女性割合が65.3%であることから、市が率先してケアの負担を分かち合える社会の実現に向けて取り組むことを期待する。

新規採用女性職員割合・男性育児休業取得率



四日市市の新規採用職員における女性割合および、男性職員の育児休業取得率の推移

公共施設

あらゆる人がいくつになっても学べる環境の整備を

無会派
いまむら あつみ
今村 厚美

議員 放送大学は広く社会人に大学教育の機会を提供する趣旨で設立され、働きながら学びたい人、定年退職を迎えたシニア世代、障害のある人など、さまざまな人がインターネットなどで時間や場所を問わず平等に学ぶことができる通信制大学である。放送大学には全国に学習施設があるが、県内には津市にしかない。また、本市は県内の他市町と比べて、放送大学に通う人の割合が少ない傾向がある。あらゆる人に学びの機会が平等に提供されることは重要なため、近鉄四日市駅周辺の公共施設内にDVD等の教材が視聴できる放送大学の学習施設であるサテライトスペースや再視聴施設を誘致できないか。

政策推進部長 近鉄四日市駅周辺の公共施設として地場産業振興センターが想定されるが、当施設は産業振興を目的とした施設に改修する予定となっている。また、本市はJR四日市駅前で理工系公立大学の設置と、三重大学の教育研究拠点の誘致を目指している。現時点で大学拠点施設への放送大学の誘致は想定していないが、

放送大学の多様な教養科目は公立大学の教育課程の充実に資すると認識しており、公立大学の教育研究分野の検討を進める中で、単位互換などの連携の可能性について研究していきたい。

議員 再視聴室であれば小規模なスペースでコストもかけず設置できる。あらゆる人への学習支援や生涯学習、人材育成などさまざまな視点からも誘致に向けた調査、研究をしてほしい。



放送大学静岡学習センター掛川教室の再視聴室

ICT

行政手続きのオンライン化の取り組みを推進せよ

新風創志会
辻 裕登

議員 行政手続きのオンライン化は、市民の利便性の向上だけでなく、行政事務の効率化にもつながる。国は自治体ごとの行政手続きのオンライン化の進捗状況を公表しているが、子育て、介護関係の26種類の手続きについて、県内他市町と比べ、本市のオンライン化が進んでいないのはなぜか。

総務部長 職員が対面で説明や確認する必要があるなど、オンラインでの利用が見込めない手続きはオンライン化していない。今後については、他の自治体の状況や国の動向を研究しながら、オンライン化できない課題を解決し、利用者の利便性の向上に向け、申請件数が多い手続きを優先してオンライン化していく。

議員 出生届は出産後2週間以内に届け出る必要があるが、産後の体調不良や里帰り出産などの理由から、窓口まで足を運ぶことが難しい家庭もある。マイナンバーカードを利用した行政手続きのオンライン窓口であるマイナポータルから出生届が提出できる自治体もあるが、本市も取り組むべきではないか。

渡辺副市長 窓口申請では出生届に伴う手続きを職員が説明の上、同日に手続きできるが、現状ではオンライン申請しても後日の来庁が必要となる。また、国のマイナポータルと自治体の戸籍システムが連携しておらず、事務効率化につながらないため、導入自治体も少ない。国の動向を注視しながら、今後検討していきたい。

市政運営

市民に寄り添った本市独自の政策を！

新風創志会
谷口 周司

議員 国は物価高騰対策のための予算措置を講じたが、実際に支援を市民に届けるのは自治体である。市民や事業者からは早く支援を届けてほしいという切実な声が寄せられているが、支援はいつ市民の手元に届くのか。

市長 子ども一人当たり2万円の給付を行う物価高対応子育て応援手当は、今定例月議会中に議案を上程したい。また、その他の物価高騰対策についても、1日でも早く市民や事業者に届くよう市役所が一丸となって取り組む。

議員 児童館の立地が市内東部に偏り、子どもたちの遊びや学び、交流の機会に地域間格差が生じている状況は問題である。子どもや子育て世帯のニーズを踏まえた施設の新設も含め、地

域間格差の是正にどのように取り組むのか。

こども未来部長 全市的な拠点施設であるこども子育て交流プラザや移動児童館事業を充実しながら、総合計画に掲げる拠点施設の拡充に向けた検討を行っている。地域でも子どもの居場所づくりを進めるなど、市全体で多様な学びや体験の機会を創出できるよう取り組む。

議員 郊外の家庭では通学費が高額となり、家計の負担となっている。「郊外住宅団地の再生」に加え、子育て支援や公共交通の維持にもつながる通学定期への補助を検討してはどうか。

都市整備部計画担当部長 利用者層を限定した補助の実施は困難である。引き続き公共交通が利用しやすい環境づくりと利用促進に努める。

緑 政

過酷な草刈りをヤギが解決

新風創志会
平野 貴之

議員 地域の方や委託業者にとって、過酷で危険な作業である草刈りを解決する手段として、ヤギによる除草が多く行われている。伊賀市の上野遊水地の傾斜地では除草にヤギを活用することで、人による作業より除草費用が抑えられている。本市が管理するため池や調整池の傾斜地などでヤギによる除草を導入してはどうか。

都市整備部長 ヤギによる除草は、逃走防止柵の設置などが必要となるが、地域の方や委託業者の高齢化が一層進むと傾斜地の草刈りが困難となるため対策の検討が必要と考える。まずは既にフェンスが設置されている調整池において、実施箇所の選定や費用比較について業者へ聞き取りを行うなど検討を進める。

議員 閉園後のふれあい牧場について、土地の売却が完了するまでは広大な敷地の除草が必要だが、現在実施しているヤギによる除草を継続することで、コスト削減を図ってはどうか。

商工農水部長 ヤギを活用するには、専門家による日常的な管理や退避場所である牛舎等の施設維持が不可欠である。ふれあい牧場の閉園後はこれらのコストに加え、ヤギが入れない場所の除草も必要となる。総合的に判断した結果、ヤギによる除草を継続することは難しく、年2回程度、業者に草刈りを委託する予定である。

議員 上野遊水地では、ヤギの管理や逃走防止柵の設置費用を含めても、人による作業より安価なため、ヤギによる除草の効果は明白である。

「市議会モニター」としてご登録いただき、可能な範囲で市議会の傍聴や、テレビ中継やインターネット（ライブ中継・録画配信）を通じて議会の様子をご覧いただけます。これらを通じて、市議会の運営に関するご意見やご提案をいただくほか、研修会、意見交換会への参加やアンケートへのご協力などの活動もお願いしています。

こちらのQRコードからも
お申し込みいただけます。



【活動内容】

- ① 議会運営に関するご意見をいただきます。
- ② 本会議や委員会等を可能な範囲で傍聴・視聴し、ご意見や提言を提出してください。
- ③ 研修会や意見交換会を開催しています。議会運営に関する疑問やご意見をお聞かせください。
- ④ その他、アンケートへの回答や議会から依頼する内容についてご意見をいただく場合があります。

【募集期間】 令和8年4月15日（水）まで（必着）

【委嘱式】 令和8年5月下旬（予定）

【その他】 特に報酬はありませんが、年度末に記念品をお渡ししています。

【募集人数】 10人程度

Q 平日は仕事や授業があるので、なかなか傍聴に行くことができません。

A 本会議や委員会の様子はインターネットでライブ中継や録画配信を行っています。ご都合の良い時間にご覧いただき、ご意見をお寄せください。

Q どんな意見を出せばいいですか。

A 市議会を傍聴・視聴して思ったことを率直なご意見としてご提出ください。

【資格】 満18歳以上の市内在住者（公務員、各議会議員、市の行政委員は除く）で、市議会の仕組み・運営や、市政・地域社会の発展に関心がある方

【選考方法】 年齢・性別・居住地等に著しい偏りが生じないよう考慮します。

【任期】 1年。ただし、再任（2回まで可）していただくことができます。

【応募方法】 住所・氏名・性別・年齢・電話番号・P C用メールアドレス（任意）・応募理由を記入の上、持参・郵便・FAX・メールまたは入力フォームのいずれかの方法で四日市市議会事務局へお申し込みください。様式は問いませんが、必要な方は市議会ホームページ、また、各地区市民センター等に応募用紙がありますのでご利用ください。

市議会モニターさんと意見交換会を開催しました

11月11日に市議会モニターさんとの意見交換会を行い、26の方に出席していただきました。

今回は「市議会を傍聴・視聴して思うこと」「市議会モニタ制度について」の二つのテーマで議員と意見交換を行いました。いただいたご意見の一部を紹介します。



会場での主な内容をご紹介します。

詳しくはホームページへ



市議会モニタ制度について

市議会モニターが市議会のことを周囲に伝えることで、市民が政治に関心を持つきっかけになるのではないか。

市議会モニターとして提出した意見が、議員に共有されることに、やりがいを感じる。

女性や若い参加者が、継続的に参加してもらえるよう、市議会モニターのやりがいを発信するべきではないか。



市議会を傍聴・視聴して思うこと

議会報告会、シティ・ミーティングの参加者が少ないため、開催方法を見直してはどうか。

若者など、市民がもっと関心を持てるような分かりやすい質疑、答弁を心掛けてほしい。

一般質問のダイジェスト版など、AIを活用した要約を作成すれば、市民の興味を引くのではないか。



11月定例月議会の議案に対してご意見をいただきました

一部の議案について、委員会で審査される前に市民の皆さんのご意見をいただいているいます。
主なご意見の概要は次のとおりです。

◆詳しくはホームページへ→



◆止水板等設置補助金

5件

- ・自然災害の発生は予測不能であるため、市民一人ひとりが意識を持つために効果的だと考える。

◆こどもみらいクーポン事業

8件

- ・より多くの子どもに、公平に体験の機会が届くよう配慮するべきである。

◆保育所等医療的ケア児看護業務委託費

3件

- ・医療的ケアを必要とする児童を社会全体で支えることは、子育てがしやすいまちの実現に寄与すると考える。

◆気象データと水位情報を組み合わせた

情報発信の調査研究

3件

- ・調査研究の成果を公表する前に、その途中経過も市民や事業者に知らせてもらいたい。

2月定例月議会については、2月6日（金）に市議会ホームページに議案および議案資料を掲載し、2月25日（水）午後5時までご意見を募集する予定です。皆さんからのご意見をお待ちしています。

9月定例月議会 議会報告会

10月21日（火）に議会報告会、シティ・ミーティングを開催しました。

いただいたご意見については、市議会で周知を図り、今後の議会活動や市政発展への参考とさせていただきます。

◆主な内容を要約してご紹介します。
詳しくはHPへ



議会報告会

問 北大谷斎場の改修工事について、費用対効果を把握したうえで事業者を決定しているのか。

答 北大谷斎場の改修工事は金額に加え、事業者からの実施手法等の提案を比較した上で事業者を決定している。

シティ・ミーティング

問 空き家問題について、市はどのように対応しているのか。

答 空き家問題は、基本的に所有者が対応すべきものであるため、市が対応できることには制約がある。「空き家の手引き」という冊子を市ホームページで公開しているので参考にしてほしい。

SNSで情報発信！



四日市市議会では、SNSで議会の日程や議会の行事、市民意見の募集など、さまざまな情報をいち早くお届けしています。ぜひ登録をお願いします！

スマホで議会情報を受け取れます!!

Instagram

Facebook

スレッズ

X

LINE



議員研修会を開催

11月7日に講師として、桑名市総務部理事の金子 洋三氏を招き、「ハラスメント」について研修を行いました。全国のハラスメント事案を交えて、ハラスメントを防止・排除するために必要なことについて講演いただきました。



防災訓練を開催

11月20日に議会の防災訓練を実施しました。定例月議会の本会議（一般質問）中に震度6弱の地震が発生、その後、庁舎内で火災が発生した想定で、本会議場内での身の安全の確保と避難の流れを確認しました。



QRコードは株式会社ソーウェーブの登録商標です。

2月定例月議会の予定 (日程は都合により変更する場合があります)

月	日	内 容	開始時刻
2	12 (木)	本会議 初日 (議案説明 ほか)	午前 10 時 ※ 3／6は 午後開始予定
	20 (金)	本会議 (代表質問)	
	24 (火)	本会議 (代表質問 / 一般質問)	
	25 (水) ~ 27 (金)	本会議 (一般質問)	
3	2 (月)	本会議 (一般質問、質疑・委員会付託 ほか)	午後 1 時
	3 (火) ~ 6 (金)	各常任委員会／予算分科会 *予備日は9 (月)	
	12 (木)、13 (金)、16 (月)、17 (火)	予算常任委員会全体会 *予備日は18 (水)	
	24 (火)	本会議 最終日 (委員長報告・採決 ほか)	

*委員会は予定より早く終了する場合があります。

*代表質問・一般質問の模様をCTV 122ch (サブチャンネル) で放送予定です。

*本会議と常任委員会は市議会のホームページで生中継し、録画配信もご覧いただけます。

2月定例月議会の議会報告会（予定）

このたび、より多くの市民の皆様に議会の情報を届けし、身近に感じていただけるよう、議会報告会の開催方法を見直す検討を進めております。

2月定例月議会の議会報告会の具体的な開催方法については、これまでとは異なる形態を取り入れる可能性があり、決定次第、改めて市議会ホームページ等で周知いたします。今後とも市議会の取り組みに積極的なご参加を賜りますようお願いします。



あとがき

今後の編集の参考とするため、「よっかいち市議会だより」をご覧になったご意見、ご感想などを寄せください。

広報広聴委員会 (◎委員長 ○副委員長)

◎村山 繁生	○荒木 美幸	石川 善己
伊世 利子	太田 紀子	上 麻理
田中 徹	森 智子	

発行／四日市市議会 編集／広報広聴委員会

ご意見・ご感想などのあて先

〒510-8601 四日市市諏訪町1番5号
四日市市議会事務局

Tel 059-354-8340 Fax 059-354-8304
Eメールアドレス shigikai@city.yokkaichi.mie.jp
ホームページ [四日市市議会](#)

「よっかいち市議会だより」は、環境にやさしい
ペーパーレス化を実現しています。